

くらしの願い いかりとどけます



日本共産党は、昨年末の総選挙で21議席に躍進。議案提案権を獲得して、願いをとどける力がグーンとアップ。県議選も3議席に。市議選でも日本共産党の2名に願いをたくしてください。

市議会議員 小林まみ子は全力でがんばります



もっとくらしに

安倍暴走政治に立ち向かいます

- 消費税10%、年金削減は中止を
- 東海第2原発の再稼働ストップ
- 「原発ゼロ」「自然エネルギー」へ転換
- 憲法9条まもり
- 海外で戦争する国づくりに反対



国保料引き下げ

国保料1世帯1万円の引き下げは年2・6億円。ためこみ金181億円(財政調整基金と減債基金)の1・5%で実現できます。

高校卒業までの医療費助成

やとと新年度から外来医療費助成が中学3年生まで拡大されます。粘り強く要求してきた結果です。

子育て支援のため、高校卒業までの医療費無料化めざしががんばります。

- 若者に安定した雇用を
- 介護保険料の値上げストップ
- 住宅リフォーム助成の実現
- 福祉タクシーの実現
- 中心市街地の活性化

日立市政の3つの問題点

① 深刻な人口減少

昨年の人口減少は2168人で全国2位。市の推計でも2040年には約15万人に減少するとされ、市の将来にとって深刻です。

要因は、大企業のリストラ(日立電線、日立化成など)と少子化です。この対策が弱いのが今の市政です。

② 市にないのはお金ではなく「福祉の心」

市は少子化対策の子どもの医療費助成を新年度から中学3年生まで拡大すると約束(党・予算要望への回答)。しかし、4月から高校卒業まで助成する常陸太田市と比べて大きく遅れています。

市のためこみ金は県内1位。日立市にないのはお金ではなく「福祉の心」です。

③ 大型公共事業から、くらし第一の政治へ

「必要性はわかるが、あまりにも豪華すぎる」と批判の強い新市庁舎建設をはじめ、池の川体育館、大みか駅再開発などの大型公共事業を推進。「これから十年はハード事業が必要」と強調しています。

日本共産党は、予算の使い方をくらし第一に変えてこそ、深刻な人口減少など諸問題を解決できると確信しています。



新庁舎の完成予想図 (市ホームページ)

募金にご協力ください

何としても2議席回復を

日本共産党

日本共産党日立市委員会は、4月におこなわれる市議会議員選挙の予定候補者として
小林まみ子(現)、おおそね勝正(元)を発表しました。



小林まみ子

1964年生まれ。茨城キリスト教短期大学卒、日立市議3期。
 [現在] 日本共産党日立市委員会委員長、新日本婦人の会日立支部委員。
 [家族] 夫、一男二女。弁天町3-4-19 在住。
 [主な活動地域] **鮎川以北**



おおそね勝正

1942年生まれ。工学院大学機械工学科卒、日立市議4期。
 [現在] 日本共産党日立市委員会副委員長、原発を考える会幹事。
 [家族] 妻。日立市久慈町4-7-5 在住。
 [主な活動地域] **鮎川以南**

みなさん、いつも大変お世話になっています。
 4年前の選挙は、大震災の直後で市内でも大きな被害を受けた中での選挙でした。何よりも、いのちと日常の大切さ、人と人との絆の大事さを痛感しました。
 しかし、安倍政権は、年金・介護・医療などの大改悪と、憲法九条を変えて「海外で戦争する」国づくりをすすめています。
 私は、市民だれもが安心して暮らせる市政をめざしがんばります。ご支援をよろしく願います。

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。
 私はこの間、東海第二原発の廃炉を求める運動をしてきました。過酷事故が起きれば、生活もふるさとを奪われます。30キロ圏内に約100万人が暮らしていて、避難計画など作りようもありません。廃炉以外に道はありません。
 消費税増税、年金・介護・医療など大改悪の安倍政権に、ノーの審判を下しましょう。
 私は、市民の暮らし第一で全力を尽くします。ご支援をよろしく願います。

安倍暴走政治ストップ! 大門みきし参院議員来たる

日本共産党演説会

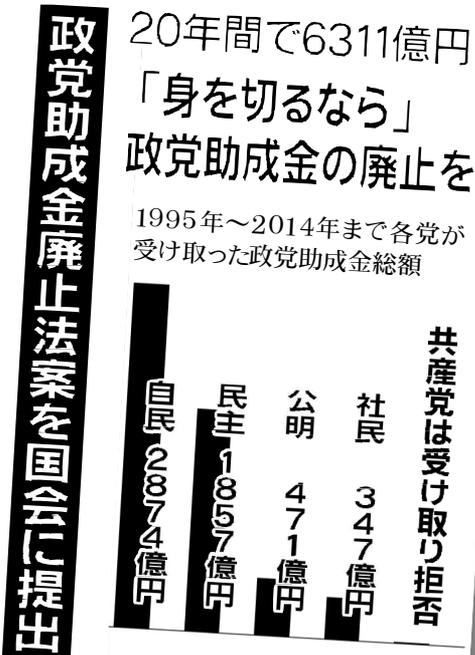
日時 **3月15日(日)** 午前10時30分～
 会場 日立シビックセンター 多用途ホール
 弁士 おおそね勝正元市議会議員
 小林まみ子市議会議員
 大門みきし参議院議員



*駐車場は、地下駐車場(有料)

共催 日本共産党日立市委員会・北部地区委員会

日本共産党 **4月12日(日)** ●日立駅前
 街頭演説会 午前11時～ ●おさかなセンター前



過激武装組織IS(イスラム国)による蛮行を糾弾する 日本共産党